

よくわかる

第1章

# Chapter 1

## 画像の加工

Check	この章で学ぶこと	9
Step1	作成するプレゼンテーションを確認する	10
Step2	画像の外観を変更する	12
Step3	画像を回転する	16
Step4	画像をトリミングする	20
Step5	図のスタイルをカスタマイズする	27
Step6	画像の背景を削除する	30
練習問題		39

# Chapter 1

## この章で学ぶこと

学習前に習得すべきポイントを理解しておき、  
学習後には確実に習得できたかどうかを振り返りましょう。

1 画像にアート効果を設定できる。



2 画像の色のトーンを変更できる。



3 画像を回転できる。



4 縦横比を指定して画像をトリミングできる。



5 数値を指定して画像のサイズを変更できる。



6 図形に合わせて画像をトリミングできる。



7 図のスタイルをカスタマイズできる。



8 画像の背景を削除できる。



# Step 1

# 作成するプレゼンテーションを確認する

## 1 作成するプレゼンテーションの確認

次のようなプレゼンテーションを作成しましょう。

1枚目



2枚目



3枚目



4枚目



5枚目



6枚目



1

2

3

4

5

6

7

総合問題

付録1

付録2

索引

7枚目



8枚目



9枚目



10枚目



11枚目



12枚目



### 1 作成するスライドの確認

次のようなスライドを作成しましょう。



色の変更

## 2 アート効果の設定

「アート効果」を使うと、写真をスケッチや水彩画などのようなタッチに変更することができます。瞬時にデザイン性の高い外観に変更できるので便利です。

### ●鉛筆:スケッチ



### ●ペイント:ブラシ



### ●パッチワーク



### ●カットアウト

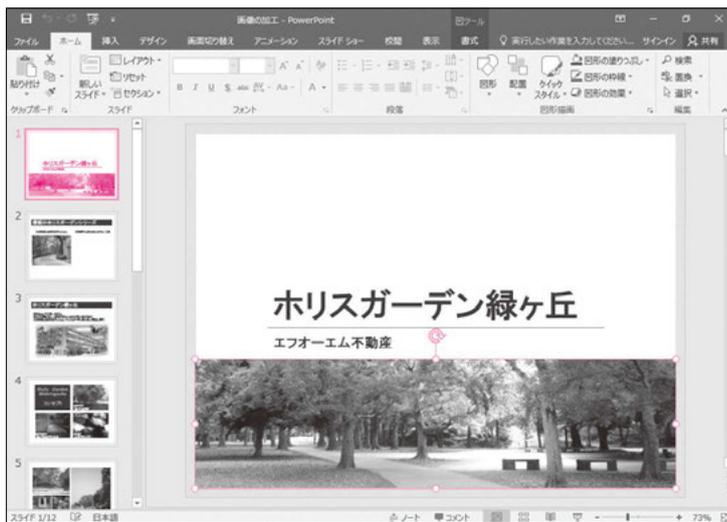


スライド1の画像にアート効果「パステル:滑らか」を設定しましょう。



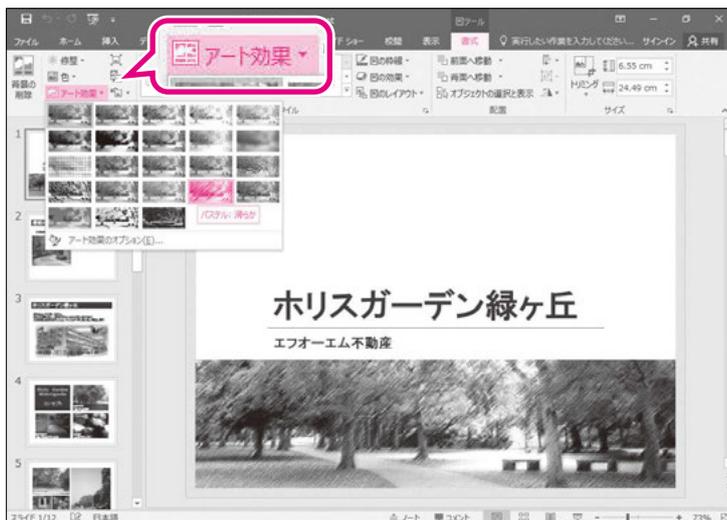
OPEN

フォルダー「第1章」のプレゼンテーション「画像の加工」を開いておきましょう。



①スライド1を選択します。

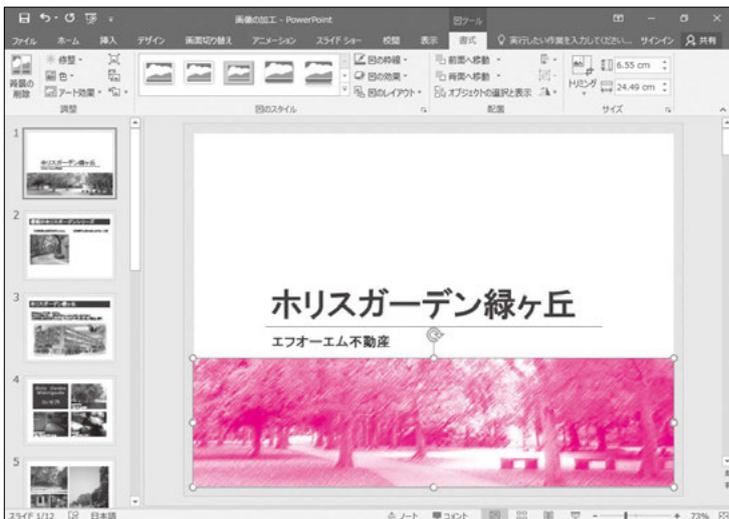
②画像を選択します。



③《書式》タブを選択します。

④《調整》グループの **アート効果** (アート効果) をクリックします。

⑤《パステル:滑らか》をクリックします。



画像にアート効果が設定されます。

**POINT ▶▶▶**

**アート効果の解除**  
 アート効果を設定した画像をもとの状態に戻す方法は、次のとおりです。  
 ◆画像を選択→《書式》タブ→《調整》グループの **アート効果** (アート効果)→《なし》

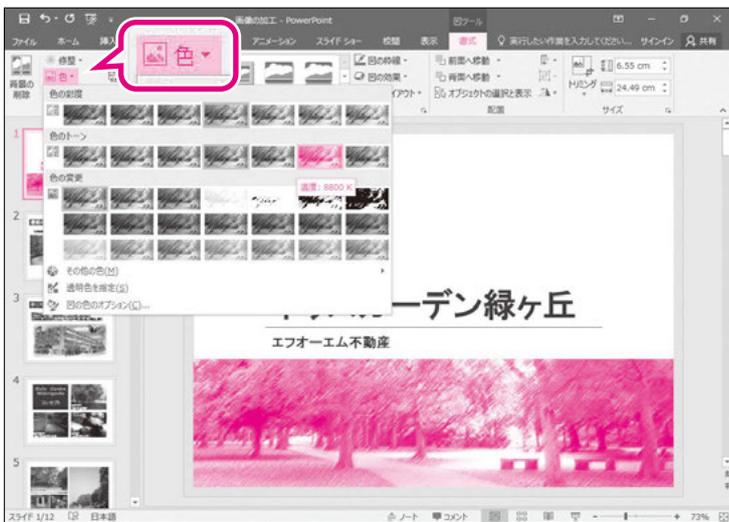
### 3 色のトーンの変更

**色** (色) を使うと、画像の彩度 (鮮やかさ) やトーン (色調) を調整したり、セピアや白黒、テーマに合わせた色などに変更したりできます。

「色のトーン」は、色温度を4700K~11200Kの間で指定でき、数値が大きくなるほど温かみのある色合いに調整できます。



スライド1の画像の色のトーンを「温度:8800K」に変更しましょう。



- ①スライド1を選択します。
- ②画像を選択します。
- ③《書式》タブを選択します。
- ④《調整》グループの **色** をクリックします。
- ⑤《色のトーン》の《温度:8800K》をクリックします。

1

2

3

4

5

6

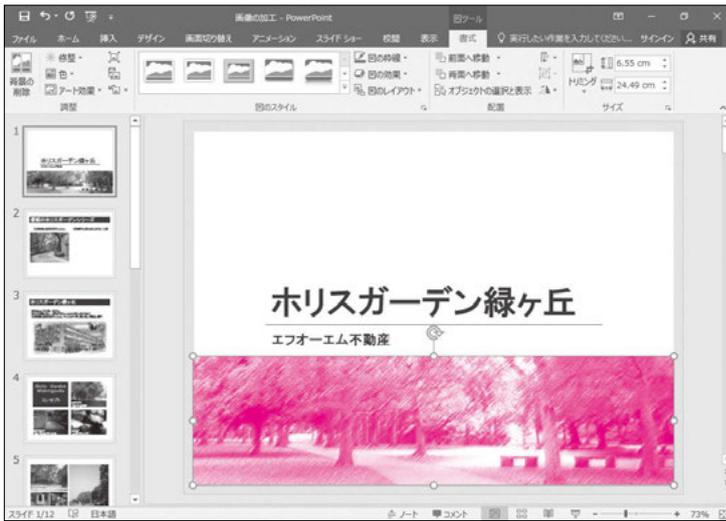
7

総合問題

付録1

付録2

索引



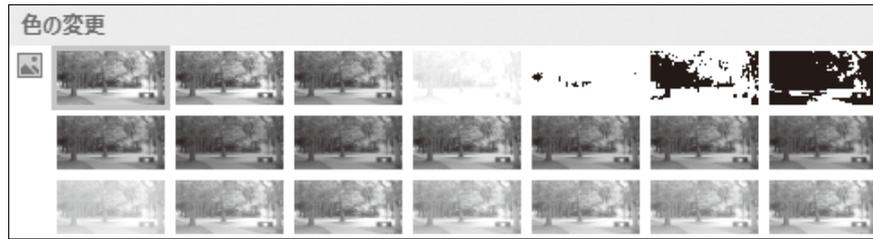
色のトーンが変更されます。

**POINT**

**画像のリセット**  
 画像に行った様々な修整を一度に取り消すことができます。  
 画像をリセットする方法は、次のとおりです。  
 ◆画像を選択→《書式》タブ→《調整》グループの (図のリセット)

**STEP UP** **画像の色の変更**

(色)の「色の変更」を使うと、画像の色をグレースケールやセピアなどの色に変更することができます。



**STEP UP** **画像の色の彩度**

(色)の「色の彩度」を使うと、画像の彩度(鮮やかさ)を調整できます。  
 色の鮮やかさを0%~400%の間で指定でき、0%に近いほど色が失われてグレースケールに近くなり、数値が大きくなるにつれて鮮やかさが増します。



**Let's Try**

**ためしてみよう**

次のようにスライドを編集しましょう。

- ① スライド4のSmartArtグラフィック内の左下の画像の色をセピアに変更しましょう。
- ② スライド4のSmartArtグラフィック内の右上の画像の色のトーンを「温度:8800K」に変更しましょう。

**Let's Try Answer**

- |   |  |
|---|--|
| <p>①</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① スライド4を選択</li> <li>② SmartArtグラフィック内の左下の画像を選択</li> <li>③ 《図ツール》の《書式》タブを選択</li> <li>④ 《調整》グループの (色)をクリック</li> <li>⑤ 《色の変更》の《セピア》(左から3番目、上から1番目)をクリック</li> </ol> | <p>②</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① スライド4を選択</li> <li>② SmartArtグラフィック内の右上の画像を選択</li> <li>③ 《図ツール》の《書式》タブを選択</li> <li>④ 《調整》グループの (色)をクリック</li> <li>⑤ 《色のトーン》の《温度:8800K》(左から6番目)をクリック</li> </ol> |
|---|--|

# Step 3

## 画像を回転する

### 1 作成するスライドの確認

次のようなスライドを作成しましょう。



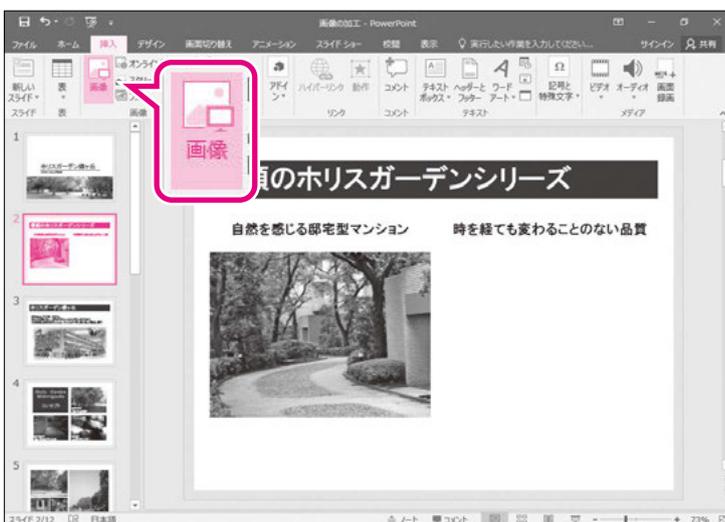
### 2 画像の回転

デジタルカメラを縦向きにして撮影した写真をPowerPointに挿入すると、横向きで表示されます。

「オブジェクトの回転」を使うと、挿入した画像を90度回転したり、左右または上下に反転したりできます。また、画像を選択したときに表示される  をドラッグすることで、任意の角度で回転することもできます。

#### 1 画像の挿入

スライド2にフォルダー「第1章」の画像「リビングルーム」を挿入しましょう。



- ①スライド2を選択します。
- ②《挿入》タブを選択します。
- ③《画像》グループの  (図) をクリックします。

1

2

3

4

5

6

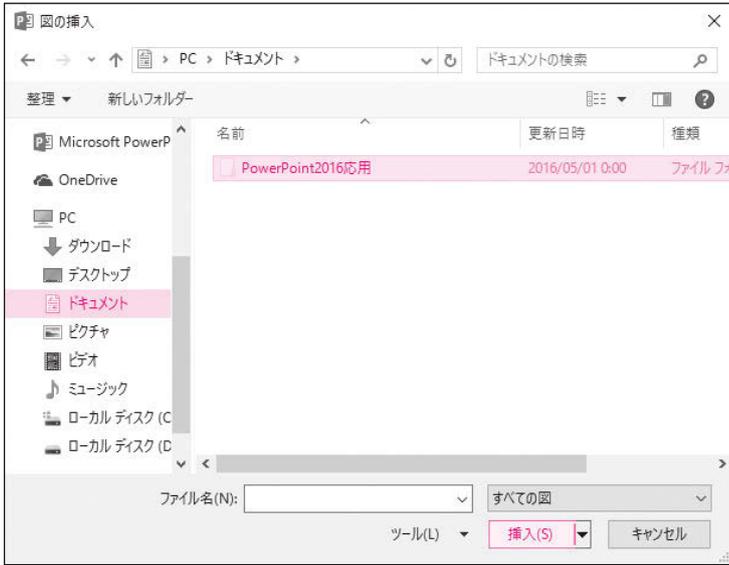
7

総合問題

付録1

付録2

索引



《図の挿入》ダイアログボックスが表示されます。

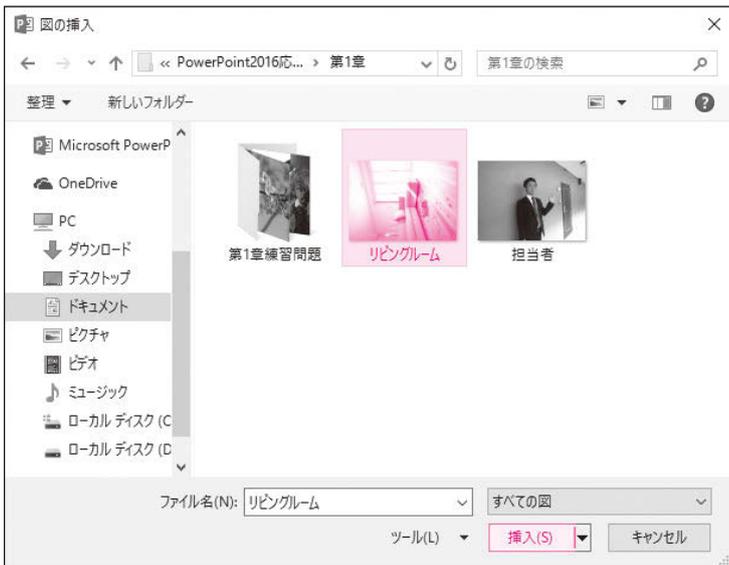
画像が保存されている場所を選択します。

④ 左側の一覧から《ドキュメント》を選択します。

※《ドキュメント》が表示されていない場合は、《PC》をダブルクリックします。

⑤ 右側の一覧から「PowerPoint2016応用」を選択します。

⑥ 《挿入》をクリックします。



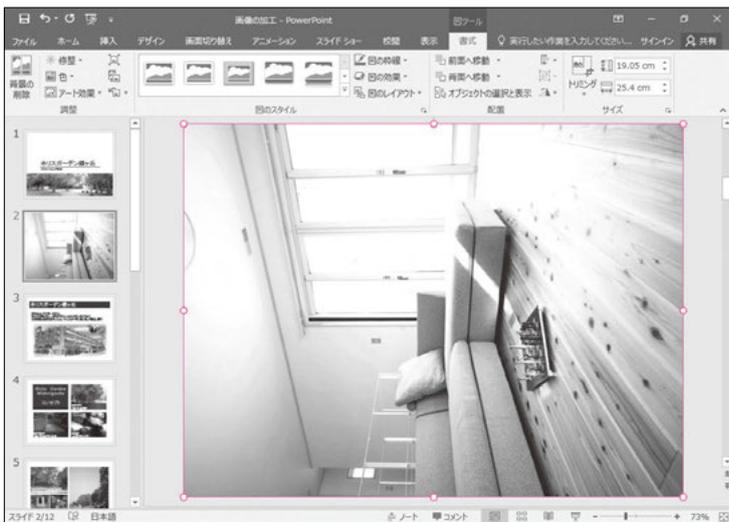
⑦ 一覧から「第1章」を選択します。

⑧ 《挿入》をクリックします。

挿入する画像を選択します。

⑨ 一覧から「リビングルーム」を選択します。

⑩ 《挿入》をクリックします。

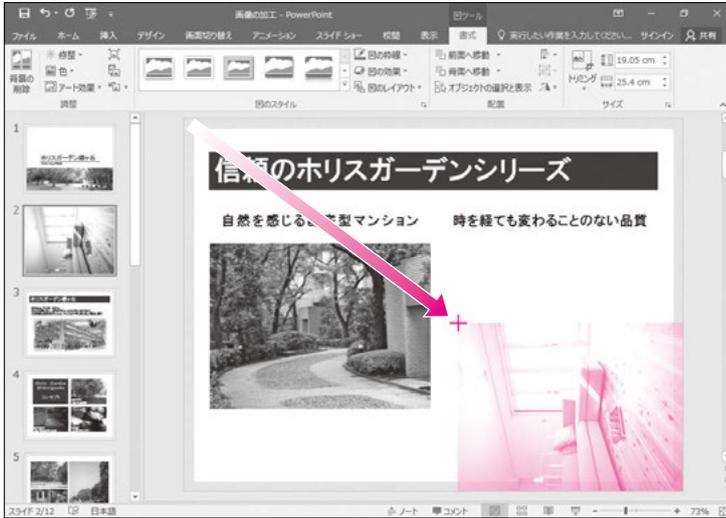


画像が挿入されます。

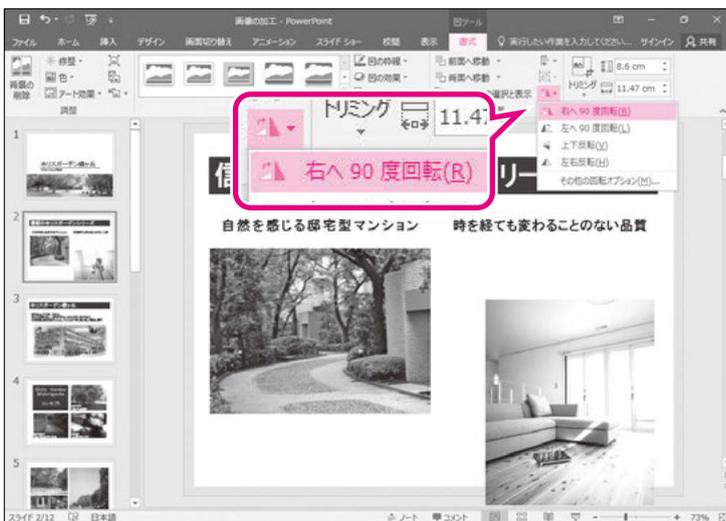
※リボンに《図ツール》の《書式》タブが表示されます。

## 2 画像の回転

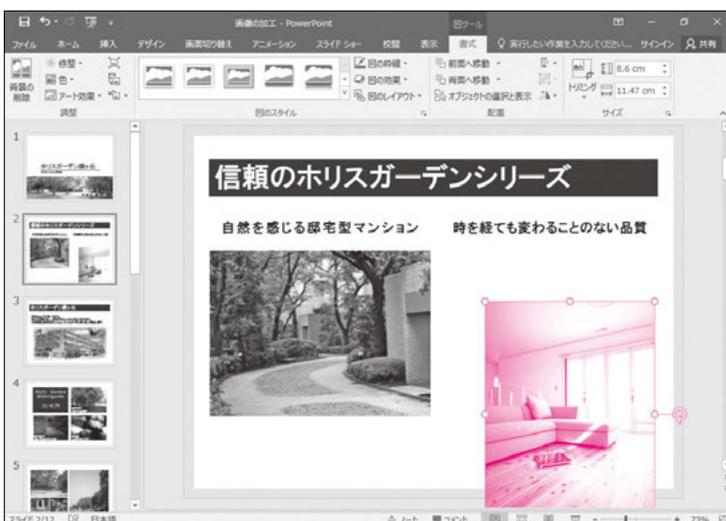
画像「リビングルーム」のサイズを調整し、右に90度回転しましょう。



- ①画像が選択されていることを確認します。
- ②図のように、画像の○(ハンドル)をドラッグしてサイズを変更します。



- ③《書式》タブを選択します。
- ④《配置》グループの  (オブジェクトの回転) をクリックします。
- ⑤《右へ90度回転》をクリックします。



画像が回転します。

1
2
3
4
5
6
7
総合問題
付録1
付録2
索引



⑥図のように、画像をドラッグして移動します。  
※移動中、配置ガイドと呼ばれる点線が表示されます。



画像が移動します。  
※画像のサイズを調整しておきましょう。

**POINT ▶▶▶**

**画像の反転**  
 画像を上下または左右に反転できます。  
 画像を反転する方法は、次のとおりです。  
 ◆画像を選択→《書式》タブ→《配置》グループの  (オブジェクトの回転)→《上下反転》または《左右反転》

**POINT ▶▶▶**

**配置ガイド**  
 画像や図形を移動したり、サイズを変更したりするときにほかのオブジェクトの上端や下端、中心などの位置にそろう場所まで画像や図形をドラッグすると、配置の目安となる「配置ガイド」という点線が表示されます。  
 画像や図形を移動したり、サイズを変更したりするときは、配置ガイドを参考にしながら配置するとよいでしょう。

